[ご意見 37]

Subject: 保護者としての今の思い

PTA 会長をはじめとするタスクフォースの皆様、22日の理事たちとの面談、ありがとうございました。
一保護者としての今の思いを述べさせてもらいます。

売却が決定されるかもしれない29日の理事会の1週間前、22日の会合には坂本会長をはじめたくさんの理事の方が集まられたとのことですが、一切理事たちからの発言がなかったということが理解が出来ません。単純に考えて、そのような事前の申し合わせがあったと考えられますが、よきに解せば、PTA との接触を一切断たせてきた坂本会長が、29日の理事会を控えて各理事に PTA の生の声を聞いてもらう席を設けられたということなのでしょうか？　しかし、これまで坂本会長には首尾一貫裏切られてきましたので、一体何の思惑を持たれているのか、何を信じてよいのかが分かりません。いずれにしてもこの席で、これまでの主張を含め PTA としての考え、提案を再度十分に説明を受けられたであろう理事の皆様が、金太郎飴にならず、崇高な日本人としての個人を呼び覚まして、自らの判断で投票されることを望みます。

私はいまだにこの先日本人学校がどのようになっていくのかが分かりません。 少なくとも赤字を解消して、NJ と統合させるということ以外何をどのようにされたいのか、全く分かりません。
もう一つ、こじれにこじれた相手校との関係ですが、ここまでぎくしゃくして、同じ土地でやっていけるのでしょうか？こうした不安を抱えている保護者、生徒は少なからずいるという話は審議会関係者の耳にも入っていると思いますが、週間 NY 生活での売らなければ訴えるという記事が出た後も、審議会からは保護者に対し不安を解消するようなメッセージを何も発信されていませんよね。

そもそも Greenwich に移ってきたときの理念は何だったのでしょうか？　根無し草の生活はやめて、子供たちが真に勉学に励み、体を鍛え、明日の日本、世界を担えるような教育が出来る環境を作ろうという理念があったのではないでしょうか？　だからこそ、日系企業からの多額の寄付の下、巨額の資金を使っての移転が可能であったのではないのでしょうか？

「初心忘るべからず」、 坂本会長、そして売却強硬派の理事の方々、グリニッジに移転した当時の先人の理念、理想を考えて頂けませんか？必ずそこには、当時 NY で活躍されたあなたと同じ立場の方々の思いと、NY 日本人学校かくあるべしという姿があると思うのです。こうした理念があったればこそ、一丸となって GJS 移転、その後の苦労に、皆が打ち克てたのではないのでしょうか？こうした先人の苦労に思いを馳せると、 相手校弁護士が訴えているという差別問題などは、影が薄くはなりませんか？それともあなた方が聞かれている、移転の背景や、先人の苦労は保護者が聞いているものと違うものなのでしょうか？（GJS に入る生徒の保護者は移転時の苦労、問題を記した冊子を入学前に頂きますが、それはお読みになっていますか？）
こうした訴えを青臭いなどといわないでください。 私は5月の説明会で坂本会長ががおっしゃった、「保護者の訴えは真摯に受け止め、検討する。」と言う言葉を暫くの間信じていました。 今も心のどこかで、あの発言をされたあなたの顔を思い出しながらこの文章を書いています。

理事の皆様は、個人としてボランティアで活動されているとのことですが、これが事実ならそこに日本人だという以外何のしがらみもない筈です。
同じ日本人として、皆様の英断に全ての期待を託します。

以上